

10月は3R推進月間です

ごみを減らす「リデュース」、使えるものは繰り返し使う「リユース」、ごみを分別して資源を再生利用する「リサイクル」の「3R」に取り組みましょう。ごみは分別することで、焼却・埋め立て処理する量を減らすことができます。市民の皆様のご協力をお願いします。

ここでは3R推進と関連して、市のごみ処理の状況について平成22年度の実績を基にお知らせします。

ごみの量と処理経費

平成22年度に一般家庭や事業所から出されたごみの量は9、132tでした。ごみの収集や焼却・埋め立てにかかった経費は3億2、300万円※でした。これは市民一人当たりで換算すると、1年間でごみの量が約280kg、処理経費で約1万円になります。（※職員の人件費や市債の償還費は除きます）

リサイクルの状況

国東市でリサイクルに取り組んでいる品目や実績は以下のとおりです。これらはリサイクル業者に再商品化を委託したり、有価ごみとして売却することで、新しい商品に生まれ変わったり、別の製品の製造に利用

されます。有価ごみを売却した収益は、ごみ処理に掛かる経費の一部に充てられます。

品目	量(t)	分別方法
びん	188	市民の皆さんにより分別されます。古紙は古紙集積所に出されます。それ以外は市の指定ごみ袋に入れてごみ集積所に出されます。
かん	110	
ペットボトル	57	クリーンセンターで、不燃ごみの中から不燃物処理委託業者により選別されます。
古紙	838	
くず鉄	120	
乾電池	11	
蛍光管	2	ごみの焼却灰を、セメント原料として利用しています。
焼却灰	534	

ごみの減量・分別のために取り組めること

○生ごみの水切り
水分を減らすことでごみ量が減少します。

○古紙集積所の利用

焼却されるごみ量が減少し、リサイクル率も向上します。種類ごとにまとめて、ビニールひもなどでくくって出してください。

古紙の分別種類

◎新聞紙・チラシ（新聞紙とチラシの仕分けは必要ありません）◎雑誌◎ダンボール◎紙パック（中を洗って開いてください）

○ごみ分別の徹底

市の指定ごみ袋（可燃物・不燃物・びん・かん・ペットボトル）ごとにごみを分別して出してください。

国東市 クリーンセンターからお願い

○電源コードは不燃ごみ袋へ
可燃ごみ袋に入れられたものが多く見受けられます。コードは銅線が使用されているため不

燃ごみ袋で出してください。

○乾電池・蛍光管の分別

不燃ごみ袋で出される乾電池と蛍光管も、クリーンセンターで選別されリサイクルされています。乾電池はある程度度とまった量を透明の別の小袋に入れたり、蛍光管は割れないように販売用の容器に入れて出したりすることで、選別作業の効率が上がります。

市の指定ごみ袋

ごみ処理は、とても高額な経費が掛かります。そこで市の指定ごみ袋を市民の皆さんに購入いただくことで、ごみ処理に掛かる経費の一部を負担していただいています。

平成22年度の指定ごみ袋の販売収益は、約4、100万円、袋の製造や流通販売のための経費を除いた約3、000万円が、ごみ処理に掛かる経費の一部に充てられました。

問い合わせ

環境衛生課
☎0978-72-9001